

<p>&lt;&lt;東北魂&gt;&gt;を鼓舞する 電子新聞</p> <p>発行所 株式会社遊無有 〒207-0015 東京都東大和市中央1-539-15 https://tohoku-saiko.jp/ e-mail:y.s.yumuyu@ozzio.jp</p>	<h1>東北再興</h1> <p>Re-C reate , TOHOKU!</p> <p>2025年(令和7年)11月16日日曜日</p>	<p>無料 第162号</p> <p>毎月発行</p> <p>発行 2025年(令和7年)11月16日 日曜日</p>
---	---	---

**【当新聞発行責任者  
兼編集長兼記者紹介】**

**【砂越 豊】**

宮城県生まれ。72歳の新人映像作家兼プロデューサー兼作家。趣味は古代史・縄文文化研究。現在、埋もれた籍の執筆開始。また、企業価値増大とともに、会社を今年4月に起業。電子新聞『東北再興』の発行責任者兼編集者兼記者でもある。



## 大谷選手は『ドジャース2連覇』牽引!

9打席9出塁などMLB史上初の数々の記録を打ち立てたがまだまだ頂点到達にはほど遠い来シーズンはどんな記録を打ち立てるのか?



米大リーグ・ブルージェイズとのワールドシリーズ第3戦の7回、この試合2本塁打目となる同点ソロを放ちポーズをとるドジャース・大谷翔平=27日、ロサンゼルス(共同)

今シーズンの大谷選手の活躍の場面は、昨シーズンと同様に数えきれないほどだった。すべての活躍を拾い上げるのはとてもむずかしいが、せめてそれらの主なもの、特に記憶に新しいポストシーズンでの活躍を思い出し、大谷選手の今シーズンを振り返ってみよう。

絶対に忘れもしないし、忘ることはできないのが、日本時間の十月二八日に行われたワールドシリーズの第三戦であり、最初にこれを取り上げよう。

この試合は、ドジャースとブルージェイズが繰り広げた六時間三十九分、延長十八回という歴史的な激闘だつたが、この試合はすべての野球ファンを虜にしたことであろう。

筆者も、テレビではあるが、リアルタイムですべて夢中で観戦していた。

一勝一敗で迎えて、両軍ともに極度の緊張状態のなかでの試合だった。文字通り、その一戦はワールドシリーズ全体の勝敗を左右するものであり、選手たちは、長時間に及ぶ緊張を強いられ、疲労もかなりのものだつたであろう。

腹にもなったであろう。一部の選手は軽食を食べながら試合に臨んでいたが、どの長時間の試合だったが、観客に最後まで飽きずに見続けさせるほどの大熱戦であった。

二八日のワールドシリーズ第三戦

忘れられない十月

九打席九出塁・・・

二ホームラン、二塁打二本、四連続申告敬遠、ファアボール一つ

その試合の中で、大谷選手がやつてのけたことは、もはや人間業ではないとしか言いようがない。

彼は「二番・DH」として出場し、なんと一試合で九打席連続出塁という、途方もない記録を達成した。

その内訳は、本塁打が二本二塁打が一本そしてフオアボールが五つだった。

四長打の大活躍を見せつけられたブルージェイズのジョン・シュナイダー監督は、七回にこの日二本目の同点ソロを打たれた後、もう大谷選手と勝負することを完全に諦めた。

その結果、何と申告敬遠四つという、普通ならクレームもので違反と言われても仕方ない方法まで駆使して大谷選手に打たせまいとしたのだ。

まず、「九打席九出塁」はメジャー新記録ではないようだが、ポストシーズンなら話は別だ。

その後、何と申告敬遠四つという、普通ならクレームもので違反と言われても仕方ない方法まで駆使して大谷選手に打たせまいとしたのだ。

「九出塁」の記録で最も最近に達成されたのは、一九四二年にスタン・ハック(カブス)が延長十八回の試合で記録した五安打四四球だという。

なんと、八十三年ぶりのタイ記録だという。

「ポストシーズンでの四連続申告敬遠」はもちろん新記録である。

これは、ポストシーズン

二人目で、実際に百十九年ぶりのメジャータイ記録だという。これら以外にも、「一試合で二本塁打&二本の二塁打打を記録するのもポストシーズン史上初だ。さらに三試合でマルチ本塁打を記録するのもポストシーズン史上初だ。

最後のファアボールも、最初からまったく勝負するだけの、ストライクになる。気なく、さすがに五連続申告敬遠はまずいと思ったが、ついに打率はかなり低調だったのではあるが、ついにこの日に大谷選手の打棒が「大爆発」したのである。

大谷選手だけには絶対に打たれたくないとして、最大限の神経を使った結果、それがや人間業ではないとしか言いようがない。

彼は「二番・DH」として出場し、なんと一試合で九打席連続出塁という、途方もない記録を達成した。

その内訳は、本塁打が二本二塁打が一本そしてフ

オアボールが五つだった。

四長打の大活躍を見せつけられたブルージェイズのジョン・シュナイダー監督は、七回にこの日二本目の同点ソロを打たれた後、もう大谷選手と勝負することを完全に諦めた。

その後、何と申告敬遠四つという、普通ならクレームもので違反と言われても仕方ない方法まで駆使して大谷選手に打たせまいとしたのだ。

「九出塁」の記録で最も最近に達成されたのは、一九四二年にスタン・ハック(カブス)が延長十八回の試合で記録した五安打四四球だという。

なんと、八十三年ぶりのタイ記録だという。

「ポストシーズンでの四連続申告敬遠」はもちろん新記録である。

これは、ポストシーズン

二人目で、実際に百十九年ぶりのメジャータイ記録だという。これら以外にも、「一試合で二本塁打&二本の二塁打打を記録するのもポストシーズン史上初だ。さらに三試合でマルチ本塁打を記録するのもポストシーズン史上初だ。

最後のファアボールも、最初からまったく勝負するだけの、ストライクになる。気なく、さすがに五連続申告敬遠はまずいと思ったが、ついに打率はかなり低調だったのではあるが、ついにこの日に大谷選手の打棒が「大爆発」したのである。

大谷選手だけには絶対に打たれたくないとして、最大限の神経を使った結果、それがや人間業ではないとしか言いようがない。

彼は「二番・DH」として出場し、なんと一試合で九打席連続出塁という、途方もない記録を達成した。

その内訳は、本塁打が二

本二塁打が一本そしてフ

オアボールが五つだった。

四長打の大活躍を見せつけられたブルージェイズのジョン・シュナイダー監督は、七回にこの日二本目の同点ソロを打たれた後、もう大谷選手と勝負することを完全に諦めた。

その後、何と申告敬遠四つという、普通ならクレームもので違反と言われても仕方ない方法まで駆使して大谷選手に打たせまいとしたのだ。

「九出塁」の記録で最も最近に達成されたのは、一九四二年にスタン・ハック(カブス)が延長十八回の試合で記録した五安打四四球だという。

なんと、八十三年ぶりのタイ記録だという。

「ポストシーズンでの四連続申告敬遠」はもちろん新記録である。

これは、ポストシーズン

二人目で、実際に百十九年ぶりのメジャータイ記録だという。これら以外にも、「一試合で二本塁打&二本の二塁打打を記録するのもポストシーズン史上初だ。さらに三試合でマルチ本塁打を記録するのもポストシーズン史上初だ。

最後のファアボールも、最初からまったく勝負するだけの、ストライクになる。気なく、さすがに五連続申告敬遠はまずいと思ったが、ついに打率はかなり低調だったのではあるが、ついにこの日に大谷選手の打棒が「大爆発」したのである。

大谷選手だけには絶対に打たれたくないとして、最大限の神経を使った結果、それがや人間業ではないとしか言いようがない。

彼は「二番・DH」として出場し、なんと一試合で九打席連続出塁という、途方もない記録を達成した。

その内訳は、本塁打が二

本二塁打が一本そしてフ

オアボールが五つだった。

四長打の大活躍を見せつけられたブルージェイズのジョン・シュナイダー監督は、七回にこの日二本目の同点ソロを打たれた後、もう大谷選手と勝負することを完全に諦めた。

その後、何と申告敬遠四つという、普通ならクレームもので違反と言われても仕方ない方法まで駆使して大谷選手に打たせまいとしたのだ。

「九出塁」の記録で最も最近に達成されたのは、一九四二年にスタン・ハック(カブス)が延長十八回の試合で記録した五安打四四球だという。

なんと、八十三年ぶりのタイ記録だという。

「ポストシーズンでの四連続申告敬遠」はもちろん新記録である。

これは、ポストシーズン

二人目で、実際に百十九年ぶりのメジャータイ記録だという。これら以外にも、「一試合で二本塁打&二本の二塁打打を記録するのもポストシーズン史上初だ。さらに三試合でマルチ本塁打を記録するのもポストシーズン史上初だ。

最後のファアボールも、最初からまったく勝負するだけの、ストライクになる。気なく、さすがに五連続申告敬遠はまずいと思ったが、ついに打率はかなり低調だったのではあるが、ついにこの日に大谷選手の打棒が「大爆発」したのである。

大谷選手だけには絶対に打たれたくないとして、最大限の神経を使った結果、それがや人間業ではないとしか言いようがない。

彼は「二番・DH」として出場し、なんと一試合で九打席連続出塁という、途方もない記録を達成した。

その内訳は、本塁打が二

本二塁打が一本そしてフ

オアボールが五つだった。

四長打の大活躍を見せつけられたブルージェイズのジョン・シュナイダー監督は、七回にこの日二本目の同点ソロを打たれた後、もう大谷選手と勝負することを完全に諦めた。

その後、何と申告敬遠四つという、普通ならクレームもので違反と言われても仕方ない方法まで駆使して大谷選手に打たせまいとしたのだ。

「九出塁」の記録で最も最近に達成されたのは、一九四二年にスタン・ハック(カブス)が延長十八回の試合で記録した五安打四四球だという。

なんと、八十三年ぶりのタイ記録だという。

「ポストシーズンでの四連続申告敬遠」はもちろん新記録である。

これは、ポストシーズン

二人目で、実際に百十九年ぶりのメジャータイ記録だという。これら以外にも、「一試合で二本塁打&二本の二塁打打を記録するのもポストシーズン史上初だ。さらに三試合でマルチ本塁打を記録するのもポストシーズン史上初だ。

最後のファアボールも、最初からまったく勝負するだけの、ストライクになる。気なく、さすがに五連続申告敬遠はまずいと思ったが、ついに打率はかなり低調だったのではあるが、ついにこの日に大谷選手の打棒が「大爆発」したのである。

大谷選手だけには絶対に打たれたくないとして、最大限の神経を使った結果、それがや人間業ではないとしか言いようがない。

彼は「二番・DH」として出場し、なんと一試合で九打席連続出塁という、途方もない記録を達成した。

その内訳は、本塁打が二

本二塁打が一本そしてフ

オアボールが五つだった。

四長打の大活躍を見せつけられたブルージェイズのジョン・シュナイダー監督は、七回にこの日二本目の同点ソロを打たれた後、もう大谷選手と勝負することを完全に諦めた。

その後、何と申告敬遠四つという、普通ならクレームもので違反と言われても仕方ない方法まで駆使して大谷選手に打たせまいとしたのだ。

「九出塁」の記録で最も最近に達成されたのは、一九四二年にスタン・ハック(カブス)が延長十八回の試合で記録した五安打四四球だという。

なんと、八十三年ぶりのタイ記録だという。

「ポストシーズンでの四連続申告敬遠」はもちろん新記録である。

これは、ポストシーズン

二人目で、実際に百十九年ぶりのメジャータイ記録だという。これら以外にも、「一試合で二本塁打&二本の二塁打打を記録するのもポストシーズン史上初だ。さらに三試合でマルチ本塁打を記録するのもポストシーズン史上初だ。

最後のファアボールも、最初からまったく勝負するだけの、ストライクになる。気なく、さすがに五連続申告敬遠はまずいと思ったが、ついに打率はかなり低調だったのではあるが、ついにこの日に大谷選手の打棒が「大爆発」したのである。

大谷選手だけには絶対に打たれたくないとして、最大限の神経を使った結果、それがや人間業ではないとしか言いようがない。

彼は「二番・DH」として出場し、なんと一試合で九打席連続出塁という、途方もない記録を達成した。

その内訳は、本塁打が二

本二塁打が一本そしてフ

オアボールが五つだった。

四長打の大活躍を見せつけられたブルージェイズのジョン・シュナイダー監督は、七回にこの日二本目の同点ソロを打たれた後、もう大谷選手と勝負することを完全に諦めた。

その後、何と申告敬遠四つという、普通ならクレームもので違反と言われても仕方ない方法まで駆使して大谷選手に打たせまいとしたのだ。

「九出塁」の記録で最も最近に達成されたのは、一九四二年にスタン・ハック(カブス)が延長十八回の試合で記録した五安打四四球だという。

なんと、八十三年ぶりのタイ記録だという。

「ポストシーズンでの四連続申告敬遠」はもちろん新記録である。

これは、ポストシーズン

二人目で、実際に百十九年ぶりのメジャータイ記録だという。これら以外にも、「一試合で二本塁打&二本の二塁打打を記録するのもポストシーズン史上初だ。さらに三試合でマルチ本塁打を記録するのもポストシーズン史上初だ。

最後のファアボールも、最初からまったく勝負するだけの、ストライクになる。気なく、さすがに五連

## 不運にも九打席九出塁の翌日に先発登板

まことに不運なことに、大谷選手は前日に九打席九出塁、試合時間六時間三十九分というほぼ二試合をした翌日が「大谷投手」が先発する日となってしまった。

前日の試合が終わったのは深夜だったので、常々、機だが、大谷選手にそれを

睡眠時間をたっぷり取るはずの大谷選手は睡眠不足だったはずで、しかも前日の疲労がわずか半日ほどで回復するはずもなく、そうした状況で投打二刀流を迎えることになつたわけだ。

しかし、そうしたことを少しも感じさせず、疲れている素振りを見ることなく、さつそつとマウンドに向かつた。

しかし、三回には先制三ランを許し、三回途中五安打三失点で降板した。

現地時間十一月十二日、MLB機構はこの「レジェンダリー・モーメント賞(伝説的瞬間賞)」という二〇二〇年に創設された賞がある。今シーズンの最高の名場面を讃える賞である。

この賞を受賞したのが大谷選手で、初受賞となつた。

二年連続のワールドシリーズに王手をかけて臨んだナショナルリーグの優勝決定シリーズのブリュワーズとの第四戦での活躍が受賞対象となつた。

この試合で大谷選手は、投打二刀流で出場したが、打っては三本塁打、投げては十奪三振を記録した。

十七日、大谷は先発投手として一回表に三者連続三振を記録すると、その裏に先頭打者ホームランを放つた。

伝説的な成績をたたき出す

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

選手である。

だからこそ、今シーズン

の数々の活躍のひとつにこ

の試合での大谷選手をあえ

て取り上げることにした。

だから、このワールドシ

リーズ最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

第七戦の最終戦に「一番・

投手」で投打同時出場した。

命じるのはむずかしい。

結果的にはこの試合の負け

投手になったが、出るなど

説得しても無理だったであ

る。大谷選手はそういう

## 東北水産業の未来 その③

スルメイカ豊漁がアダとなり二転三転の大混乱発生  
水揚げ場所が大きく変動した結果、漁域別水揚げ量に格差が発生して大騒動に発展したが、何とか調整して収束に向かうか？

スルメイカ豊漁まで  
は良かつたが・・・

今年はスルメイカが異例の豊漁だった。左の地図で示したように、黒潮が日本列島の太平洋側の沿岸から南の沖合に大きく離れる「大蛇行」が終息し、群れが多く生き残ったための豊漁とも言われている。

それはともかく、近年の記録的な不漁から抜けだして安定した漁獲量が確保され、食卓に手頃な価格で届くようになり、関係者全員が喜ぶかと思った矢先、とんでもない事態が発生した

イカ漁獲量割当を早々に達成してしまった

例年であれば、スルメイカは南の暖かい海で生まれ黒潮に乗って北上し、東北や北海道の沖まで達した後南に戻り産卵する。

年間漁獲量は二〇〇〇年に三十万トンを超えていたが、昨年には一万八千トン

獲可能枠の制度を導入して以降初めてだという。青森県の小型イカ釣り船はさあこれからたくさん獲るぞと身構えていたが、目に裏切られた形になつた。そのため八戸市の岸壁には小型のイカ釣り船が手持沙汰ですらりと並んでいた。獲りこ、こもれいこそ

イカで有名な函館は漁師の死活問題に

すでに殺氣立っていた

と 討したい」としていた。  
その結果、漁獲枠の超過で休漁が続いていた北海道

道過



黒潮大蛇行終了でスルメイカが豊漁と喜んでいたが・・・KYODOより

今年はスルメイカが異例の豊漁だった。左の地図で示したように、黒潮が日本列島の太平洋側の沿岸から南の沖合に大きく離れる「大蛇行」が終息し、群れが多く生き残ったための豊漁とも言われている。

それはともかく、近年の記録的な不漁から抜けだして安定した漁獲量が確保され、食卓に手頃な価格で届くようになり、関係者全員が喜ぶかと思った矢先、とんでもない事態が発生した

イカ漁獲量割当を早々に達成してしまった

例年であれば、スルメイカは南の暖かい海で生まれ黒潮に乗って北上し、東北や北海道の沖まで達した後南に戻り産卵する。

まで低下した。大蛇行で餌となるプランクトンが少ない南の沖合に押し出されたのが一因とみられ、漁獲量の減少に伴い価格も上昇していた。

しかし、今年七、八月には青森県や岩手県の沖で前年同期と比べ約三、七倍の漁獲があり、水産庁は九月に本期の漁期の漁獲枠を三十四%引き上げた。にもかかわらずあつという間に上限に達してしまったのだからかわらざあつというだけだ。

はさあこれからたくさん獲るぞと身構えていたが、目に事に裏切られた形になつた。そのため八戸市の岸壁には小型のイカ釣り船が手持沙汰でずらりと並んでいた。獲りたくても取れないそんな状況に陥つた。

小型船が取るスルメイカはこの時期に生食用として食卓や飲食店などで人気の食材となつているが、見事に当てが外れた形になつた八戸周辺でのスルメイカ漁は本来であれば今月末にかけてが最盛期ということなので、早い時期での増枠枠再開を訴えることにした。

スルメイカ関係者は、時期が過ぎると南方にイカが南下してしまうので、出来る限り早い再開を待ち望んでいた。

その函館の小型イカ釣り船によるスルメイカ漁がストップしたのだ。  
とはいっても、一縷の望みに賭け、いつ再開してもいいよううに、函館漁港では漁師が装備品の補修を続けた。  
しかし、函館の小型イカ釣り船の漁師たちからは悲痛な声が聞かれた。  
いわく、「増枠をやつてもらわにや困る。北海道の漁師みんな殺す気か?」  
「すでに取った人はいいが俺たちこれからだつて、一番良いときに休んでるんだから・・・。」  
「こんなことしてたら、個人の漁師なんて日本から消滅する。」

いえば当然である。待ち望んでいた、約十  
ぶりの豊漁だったが、漁獲枠を超えたという理由でスルメイカ漁が来年三月で「休漁」となり、目の前豊漁のスルメイカを前にくわえて見ていろいろといふに等しい。

漁協開催の説明会では突然決まった「休漁」に漁者から多くの戸惑いの声が相次いだという。

**結局は漁獲枠増枠となるが不満の残る結果**

スルメイカは底引き網、まき網、小型漁船など漁方法によって漁獲枠を振り分けていて、水産庁は「他の漁獲枠からの振り替えも

上限は約四百トンで、北海道知事の権限に基づいて特例的に認める方向で調整したということである。まずは、最悪の事態は回避できたということだろうが、多くの課題を残した。

## 従来の漁獲枠設定は大幅に見直す必要あり

従来からの漁獲量割当方法の見直しも当然であるが、それ以上に求められるのはきめ細かな漁域毎の漁獲量予測情報の収集であり、割当数の設定であり、さらには状況変化に応じた柔軟な対応である。



八戸市はスルメイカ漁獲量枠拡大要請へ  
(ABC青森朝日放送より)

## 八戸市はスルメイカ漁獲量枠拡大要請へ (ABC青森朝日放送より)



水産庁はスルメイカ漁禁止命令  
(TBS NEWS DIG 上り)



函館では11月10日からスルメイカ漁再開で水揚げ  
(毎日新聞上り)

# いま最も注意しなければならないのは—『冬眠しない熊』

## 一番有力な情報源は熊ハンターであり他の情報に惑わされてはならない!

### ツキノワグマの大きさ

頭胴長(体長)120~180cm、体重はオス50~120kg、メス40~70kg、最大体重173kg(ウィキペディアから)

### ツキノワグマの能力

**嗅覚**: 犬並、**視覚**: 人並かそれ以上、**聴覚**: 高音敏感、低音鈍感、**走る速度**は速く短時間なら時速50km程度で走る**泳ぎ**もうまい、爪のたつ物であれば垂直の壁も登ることができる(宮城県HPより)

### 熊の生息エリアと住宅街の関係

- ① 本来の生息域である「奥山」には強くて大型のオス熊がいるがめったに人間の前に出て来ない
- ② 里山には強いオスに負けた弱いオスとオスを避けた親子熊がいる
- ③ 人間の食べ物の味を覚えた熊が里山から降りて住宅地に入り込むのが最も問題となっている熊である

### 有効な熊対策

- ① 集団で行動する
- ② 熊が未体験の音を出す
- ③ 熊は異常に生臭いのすぐ逃げる
- ④ 走らずゆっくり後ずさりで逃げる

### あまり効果が期待できない方法

- ① 「熊鈴」は万能ではない
- ② 「熊スプレー」も万能ではない
- ③ 死んだふりは効き目がない

### 現地に最も詳しいハンター情報に絞るべし

ここどころ毎日、テレビはじめあらゆるマスメディアには秋田、岩手等の熊被害情報があふれている。しかし、それらの東北の熊情報は、必要以上に不安をおり立てるだけで、熊問題の正確な実態や有効な対策から少し外れているよう気がしてならない。

そこでまず、情報を再整理するとともに、実際に熊と対峙している東北の熊ハンターの方々の「現場感覚」に根差した情報に絞り込んで対策も考えてみたい。子熊映像ばかりで親熊の怖さが伝わらない

ツキノワグマが住宅街に出現する理由として山に工事が少ないからだという見解が多く受けられる。しかし、エサが豊富なエリアでも例え、京都府の例では、山にエサが豊富でも熊が住宅街に出る原因があるようだ。

最近よく言われている熊ハンターの高齢化と人員不足であるが、これは熊の駆除率の低下に直結する。つまり熊がどんどん増加する原因となるのだ。

さらに、熊ハンターになって熊を駆除するまでに多くの手続きが必要なようだ。まず、狩猟免許を取得し、次に銃の所持許可を得て、その後狩猟者登録をして、地域の獣友会等に所属する

一緒に映つたりする。しかし、最も恐ろしいのはオスの成獣熊である。その大きさは左の表にも記載

したが、巨大なものである。これでは人間はとても太刀打ちできない。これをツキノワグマの基本情報にすべきであり、対策もここを中心て展開すべきである。

住宅街出現はエサ不足だけではない

ツキノワグマが住宅街に出現する理由としては山に工事が少ないからだといふ見解が多く受けられる。しかし、エサが豊富なエリアでも例え、京都府の例では、山にエサが豊富でも熊が住宅街に出る原因があるようだ。

最近よく言われている熊ハンターの高齢化と人員不足であるが、これは熊の駆除率の低下に直結する。つまり熊がどんどん増加する原因となるのだ。

さらに、熊ハンターになって熊を駆除するまでに多くの手続きが必要なようだ。まず、狩猟免許を取得し、次に銃の所持許可を得て、その後狩猟者登録をして、地域の獣友会等に所属する

いうハイレベルな増加率である。これは、五年間で二倍になる増加率である。さまざまな理由から熊駆除は、熊対策の最前線にいる多くのハンターたちの実感では、熊の個体数が明らかに異常に増えているという。

したがって、一部のエサ不足のために住宅街に出現するのではなく、個体数が急激に増加しているから、冬眠に向けて大量のエサを確保しようと住宅街にまで出でていると考えるのが自然だという見解が多いようを感じる。

そのため、もともとの生息域からはみ出して住宅地まで進出していると考えた方があらう。しかし、なぜ今年になつて急に住宅地への出現が増えてきたか不思議だつたが、それは熊の自然増加率を考えると理解できる。

熊の増加は年率十五%と

回る状況である。熊の冬眠は、冬にエサがや食料蔵を狙つてくる。あたりにはエサになりそうな果物はもうないのだから当然である。

そのうえで、自衛隊や警察の熊対策チームの支援で、早急に適正水準まで駆除すれば、厳重な戸締りと熊の侵入を防御する対策である。それ以外は、熊襲撃の際には、現在準備中の警察の熊駆除チームへの緊急出動要請網の整備、自衛隊の「次のステップの支援」である。

いずれにしても、この想定が現実のものとなれば、大量的の熊駆除は不可避となるだろう。

増加する可能性を考えただけでも空恐ろしい。そうした熊が今年一举にエサがあれば、あるいはエサがあると熊が判断されが無くなるという前提条件である。

おそらく、各自治体の現場では、適正頭数までに駆除が必要な頭数の多さに驚かなければ、人的被害は増加する一方なのだから、覚悟を決めることである。

だれも言わない最悪の事態: 冬眠しない熊が住宅地を荒らし回る

いまは報道もされていないし、政府も東北各自治体も言及しない恐ろしい事態が近づいている予感がある。それは、冬眠しないたくさんの熊が住宅地を荒らし

り廻り、エサを求めて人家を襲撃する想定は望むところではないが、一応準備だけはしておくべきだ。それは、冬眠しないたくさんの熊が住宅地を荒らす

その地域で、雪の中を走り廻り、エサを求めて人家を襲撃する想定は望むところではないが、一応準備だけはしておくべきだ。

最後に、左最下部に、現在熊対策で役立つもの、万能とはいえない項目を列記した。現在流布する情報とは異なることを断つておく。

【東北再興】掲載の記事・写真・図表などの無断転載を禁止します。Copyright YUMUYU INC. All rights reserved.

## 宮城県知事選挙を振り返つて

### 稀に見る接戦

去る一〇月二六日、宮城県知事選挙が行われた。確

定投票者数は、現職の村

井嘉浩氏が三四〇一九〇

票で当選、次点の前参議院議員の和田政宗氏の

三二四三七五票とは僅か

一五八一五票の差という接

戦であった。以下、前宮城

県議会議員の遊佐美由紀

氏が一七六一八七票、前角

田市職員の伊藤修人氏が

二〇四五票、自営業の金

山屯氏が三六六三票という

結果で、村井氏が六選を果

たした。

今回の選挙が全国的に

も注目されたのは、共に自

民党籍を持つ村井氏と和

田氏が争った「保守分裂選

挙」であったことと、その和

田氏が参政党的実質的な支

援を受けて選挙戦を戦つた

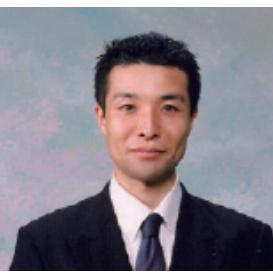
ことにある。そしてさらに、

SNS上に主に村井氏につ

いての真偽不明の情報が多く流れることもこの選挙に

多くの人の目を引き付ける

きっかけとなつた。特に多



### 執筆者紹介

大友浩平

(おおともこうへい)

奥州仙臺の住人。普段は出版社に勤務。東北の人と自然と文化が大好き。趣味は自転車と歌と旅。「東北ブログ」

<http://blog.livedoor.jp/anagoma5/>

く拡散したと思われる「村井嘉浩の悪行「四選」とタイトルのついた画像は、「強引改革で宮城を売る!」と書かれ、「悪行」が「四項目列挙されている。

地元に住んでいて日頃県政の情報に接しているれば、大半が根拠のないデマであることは自ずと判断できるのだが、巧妙なのは選挙のために土葬撤回や「水道事業の運営は外資にお任せ!」や「漁業権も民間企業に開放」など、解釈によつては一面の真実を伝える内容も盛り込まれていることである。見た人がそれらの情報を正しいと解釈すると、では他の情報も正しいのではないかと思いつく可能性がある。

私は、現在の村井氏に関しては正直評価していないし、批判的な視点で見ることが多い。もちろん、四年前の未曾有の震災時のリーダーシップは確かに素晴らしいが、この人でなければ成し得なかつただろうこともいくつもあつたのは事実である。

ただ、この人の問題点は、その成功体験が捨てられないからであつたことである。平時に戻つて、丁寧に合意形成を積み重ねていかなければいけない場面でも、相も変わらずトップダウン型のリーダーシップを振りかざしてばかりで、正直うんざりするところが多かつた。

その典型が、最近だと四病院再編問題だつた。再編の対象の一つとなつた仙台市の南隣の名取市にある県立精神医療センターでは、病院の方々が、地域の人たちと一緒に、長い時間をかけて長期間入院の患者が地域で支えられながら暮らしていく地域移行支援に取り組んできた。最初は反対していた地

域の人たちも、今は病院の人たちと一緒に支える側に回るまでになつてゐる。四

神医療センターは仙台市を挟んで北隣の富谷市に移転するといふことにされた。そうし

因だつたわけではなく、私が見れば、その強引なりー

ダーシップへの反発と多選への批判という要因が大きか

った。

そこにはデマ情報に漬け込まれる要因があつたこ

とも否めない。

私は、現在の村井氏に関しても正直評価していないし、批判的な視点で見ることが多い。もちろん、四年

前の未曾有の震災時のリーダーシップは確かに素晴らしいが、この人でなければ成し得なかつたはずで

ある。

県の審議会も当然反対したが、その時の村井氏のセリフが忘れられない。「どのよう

うな意見が出ても私の考えは変わらない」と言い放つた。

このようないいとこだつたことは想像に難くない。こういうのがあと四年続くこというんざりしていきたいものと思つた。

この四病院再編問題にしても、同じように反発が強めようとしただけだと、擁護する声もある。ただ、そ

れでも、知事は事務方が立てたプランを体を張つて進めようとしただけだと、擁護する声もある。ただ、そ

れでも、知事は事務方が立てたプランを張つて進めようとしただけだと、擁護する声もある。ただ、そ

れでも、同じように反発が強めようとしただけだと、擁護する声もある。ただ、そ

る。そこに事務方の知り得るような遠方への移転案である。病院の近くで通院しながら地域での暮らしを送

る。

建物で

ことになり、

県立精神医療センターは名

取市に留まることになった

のは、そうした民意の勝利

ではあつたが、そもそも最初からそうした声に耳を傾け

てさえれば、そうした無用な反発もなかつたはずで

ある。

二期で鳥取県知事を辞めた片山善博氏は、「最初は職員が耳の痛いことも言つていただけだね」という意思表示

と誰もモノを言わなくなるんです」と言う。同じく三重県知事を二期で辞めた北川正恭氏も、多選は「新しい価値創造が出来なくなり停滞します」と言つていた。片山氏は、多選について「県庁の組織が停滞し、活力を失

う」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

和田氏からは、こうしたアクトチックが村井氏に関するものだけだつたことについて、「著しく公平性が欠如する」と批判した。これは「理あると言わざるを得ない。和田氏によれば、氏もまた村井氏の支持者からデマや誹謗中傷を受けたと明かしている。和田氏に関するそ

うした情報は「アクトチックの対象とせずに、村井氏に

からそうした声に耳を傾け

らも良識ある判断がこの低い投票率に現れているので

い投票率に現れてゐるの

であります。機会があればお会いしてお話をしたい」と言った直後、大きく舌を出したのである。

第三の政党ですので、ご相談に行くこともあります。お話しもしたい」と言った直後、大きく舌を出したのである。

この振る舞いは何を意味するのか。普通に解釈すれば、「そんな気はさらさらないか」と推察する。

二期で鳥取県知事を辞めた片山善博氏は、「最初は職員が耳の痛いことも言つていただけだね」という意思表示

と誰もモノを言わなくなるんです」と言う。同じく三重県知事を二期で辞めた北川正恭氏も、多選は「新しい価値創造が出来なくなり停滞します」と言つていた。片山氏は、多選について「県庁の組織が停滞し、活力を失

う」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

たのではないだろうか。そもそも論として、品のない態度である。

選挙が終わつたらノーサイド、野党ではあります

天した。対立候補の和田氏

を応援した参政党について、

第三の政党ですでのご相談に行

ます。機会があればお会いしてお話をしたい」と言つた直後、大きく舌を出したのである。

この振る舞いは何を意味するのか。普通に解釈すれば、「そんな気はさらさらないか」と推察する。

二期で鳥取県知事を辞めた片山善博氏は、「最初は職員が耳の痛いことも言つていただけだね」という意思表示

と誰もモノを言わなくなるんです」と言う。同じく三重県知事を二期で辞めた北川正恭氏も、多選は「新しい価値創造が出来なくなり停滞します」と言つていた。片山氏は、多選について「県庁の組織が停滞し、活力を失

う」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

いうことがいちばんの弊害でしょう」とも言つてゐる。「権力は腐敗する」という言葉

意識的「総マタギ回帰」の道へ  
東北の森で銃を担うという事

奥羽越現像氏紹介  
（おうううえいせんじょうし）  
一九七〇年山形県鶴岡市生。札幌、東京を経て、全国の旅の末、仙台に移住。どの本屋に入っても、とりあえず郷土本の棚に向かって立ち読みを始め、東北好きである。



鉄砲、という存在について考えている—これまでも軍艦について書いたり、同じ個人の扱う飛び道具として弓について綴った事もあるが、鉄砲・銃についてはあまり東北という土地と関連づくとは思えず、本誌では扱わずにきた。否、実は決してそんな事はないのだが、やはり「男の趣味」的な色合いの強さから、軍艦以上にマニア的な話に終始しそうな予感があつたのである。しかし最近、俄かに「銃と東北」について想いを馳せざるを得ない状況になつてきた—という感覚が危機感とともにがあるので、あらためてここにそのテーマを掲げてみたいと思う。

た事があるが、銃規制が世  
界的に見ても厳しく、銃と  
いう存在が極めて非日常的  
とされる日本という国の人  
間が実は世界一銃器を愛好  
する民族であり、仮想の世  
界では漫画やアニメで、現  
実では所謂サバイバルゲー  
ムとして火薬銃という形で  
「ガス抜き」させられてい  
るのではないか—という想  
いも正直あるのである。  
かく言う私も、所謂モデ  
ルガンといったものはほぼ  
一挺しか所持していないが  
少年の頃から現在に至るま  
で、非常にしばしば銃の事  
を考え、パソコンでも海外

今、私含む多くの一般の東北人にとって最も身近な鉄砲・銃たる存在はおそらく火縄銃である。これは何事で、明治初期に軍事的要歐化の為一旦途絶えた火縄銃の古式流派が後に各地で復興し、祭事などで演武が披露されるようになつたのである。個人的には地三枝（かほさ）山形県は鶴岡・上山王（じょうさんおう）枝（じやく）神社の女性のみの砲術隊である荻野流「桜隊」へ昨年に宮城県でも新たに旗揚げとなつた、やはり女性からなる丸森鉄砲隊を含む仙台青葉祭などで集結する伊達藩所縁の各地の鉄砲隊が最も身近ではある。

しゃすい背景が「男のロマン」的な魅力を醸成してきたのだと言えよう。  
しかしながら、いくら男のロマンとは言え、「いい大人」ならば大抵は自身の人生・生活にリアリティのないもののへの執着はかなり薄っていくものである。私の場合も「西部の銃」に対する執心は、現在専らフィクションの世界での注目という形に限られている、とう言える。ところが、そうした中でもやや現実的な存在感を持つ一挺の銃がある——『シャープス・ライフル』として知られる小銃だ。これは実は発撃したら發

々なタイプが存在し、第二次世界大戦以降の自動小銃や機関銃、現行の拳銃・猟銃に詳しい層などが多い一方、私のように新しい物に興味がなく西部劇で活躍するような十九世紀アメリカ製造の構造的にシンプルな銃が断然好きだという層も少なからず存在する。

そうした銃は火縄銃ばかりではなく、現行の拳銃やライフル銃の基本の構造を備えた、現実の生活の道具たり得るものであり、愛好者であった漫画家・松本零士氏の言葉を借りれば、「荒野を己の身一つで切り開いていった男の武器」であつた——つまり一応の「文明人・近代人」が未知の原野に挑む、という感情移入

現在にも通用する狙撃銃として今も尚復刻版として製造が続いており、無論日本でも銃免許があれば所持可能である事から、特別に個人的にモリアル感覚を持てる銃と言えるのである。

少しごとに民間で普及したものだが、単発故に多量の火薬を詰めた強力な薬莢を使用でき、また優れた精度で極めて遠方の大型獣類を仕留める事も可能な事からバッファロー・ライフルの異名を持つた。何故この銃に魅かれるかといえば、実は他ならぬ東北に縁のある銃だから、という事もある。

時代は幕末、かの戊辰戦争において、我が庄内藩は米国からこのシャープス銃を六百挺購入した、と記録にある。奥羽越の同盟ではある。会津・長岡、西南でも薩摩などが仕入れているが、会津藩・山本八重の所持した連發銃スペンサーライフルよりも火力・信頼性に勝る。

藤俊夫監督・西村晃主演の映画『マタギ』そして近矢の野田サトルの漫画『ゴルデンカムイ』などにおいてある。共通する思想としては、「連発銃だと何時も撃てる」と油断する。唯発に集中し、仕留める覚悟が必要である」という事。間に有利過ぎる便利な銃では、撃たれた熊も浮かばれない」つまり単発銃が「手と戦闘能力的に対等でもない」とより單発銃が「殺生を許される条件である」という、自然と人間の力関係のバランスを象徴する文言で、これらは場面によつて本銃がマタギ

れば、怖るべき猛獸である熊を相手に一発しか撃てない鉄砲では危険極まりない。ようだが、古來江戸期よりマタギの世界ではかの火縄銃が広く使われており、各部品や火薬・弾丸など製造の分業が成立していた為に、当初は村田銃ですら導入に難色が示されたと言われる程であった。火縄銃に長年馴染んだマタギにとっては後装式で一発撃つたらすぐ次弾を込められるだけでも、村田銃は随分と便利で贅沢な武器であった事だろう。

この熊という猛獸に対しての「単発」であるという事の是非は、マタギが登場するフィクションの世界で其から繰り返し触れられてきた。天「高難の漫画『マタ

これを読む現代人は何を思ふ  
馬鹿な——と鼻で笑うかも知  
れない。まさに令和の今、  
現実のマタギと山を取り巻  
く状況はおそらく当時の想  
定外、あまりに相違したも  
のである——メガソーラー建  
設という新たな自然破壊の  
形はあるが、燃料としての  
木材需要の低下や人口減少  
で森林環境は回復かそれ以  
上の飽和状態となり、狩猟  
対象であった熊や鹿も一転  
して保護対象となつて頭数  
制限の枷を外された彼らは  
急激に山中で増加、絶滅ど  
ころか年間何千頭捕殺して  
も追いつかぬ程の出没数、  
果ては今年、列島の誰もが

矢口氏による『マタギ』には物語の世界観の軸となる興味深い「裏設定」がある。得により乱獲が加速する山野の獣たちを絶滅から救う為、山間深くに獣たちを保護・育成するシステムを構築した幻のマタギ一族の存在だ。主人公である里のマタギ青年が衝撃を受け、「俺たちは養殖された熊を狩っているというのか!」と苦悩する場面が印象的だ。

無論全くのフィクションではあるが、マタギの存在意義を問う核心的発想であら、これは発表当時現実に深刻な獲物の絶滅への危機感の反映であつたと思われる。

本から北海道では調査年の間隔が広く、個体数の推定も正しくできなかつた。二年前より警鐘を示すも受け止められず、一昨年の異常出没で大量に駆除するもの翌年に手を緩めると今年再び異常発生——また人里に降りた個体を見逃した事で彼らの優れた学習能力とその認識を同族間で共有する情報能力が後年の市街地の異常出没に繋がつたのではないか、とも推察する。

横山氏によれば、一昨年は全国で一万頭近く熊を捕殺するもそれでも追いつ

心酔の声がれづく一方、察ではライフル使用を可とすべく動き出す、といふ状況で戦闘のプロは一体どちらだつたか?と國民が渾乱に陥る様相もある。一ざつと既に多くの人が知であろう経緯や状況を綴つた訳だが、筆者などが特に提案できる妙案などは無いことにかく、ひたすら駆除して、個体数を減らしてやるしかないのだろう。

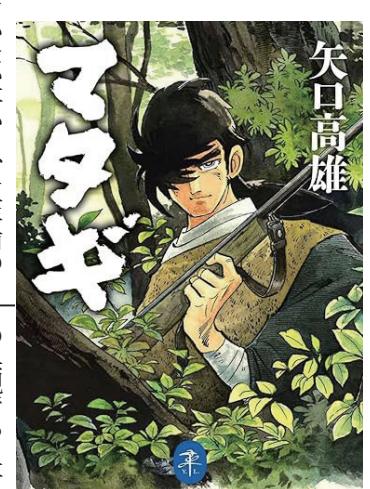
只、秋田にはメガソーラーによる森林破壊は少ないのでそれが原因ではない——自然の怒り・森からの復讐

ていい事から、五年前の推定より実際の頭数はずつと多く、今年は全国で十五頭近くになっているのではないか」との事である。

その熊の出没と被害が最も深刻なのが皮肉にも、マタギの発祥地且つ聖地とされた秋田県であった。事態を重く見た鈴木県知事は吁受諾されるが自衛隊法にむどいう形となつて批判的火器は使用できず、東門ハンターの「後方支援」的野外作業に丸腰状態で喰り鉄火器は使用できず、東

想論なのかも知れない—それでも、これから東北に必要なのは、間違いなくその哲学を持つマタギに他ならないだろう、と思う。熊たちは、山に入り森を知る事を忘れた人間の、その領域へ逆に踏み入ってきたのだ。私たち、東北人は皆あらためて山河の地理と生態系に通じ確かな信仰を持った。マタギとなつて、彼らの真実を学び直すべくその領域世界観とを持つそれそれのマタギが消滅する時東北は真に滅亡するのだから。

の具現である事は間違いないと思われるからである。



『マタギ』矢口高雄  
ヤマケイ文庫の新装版より



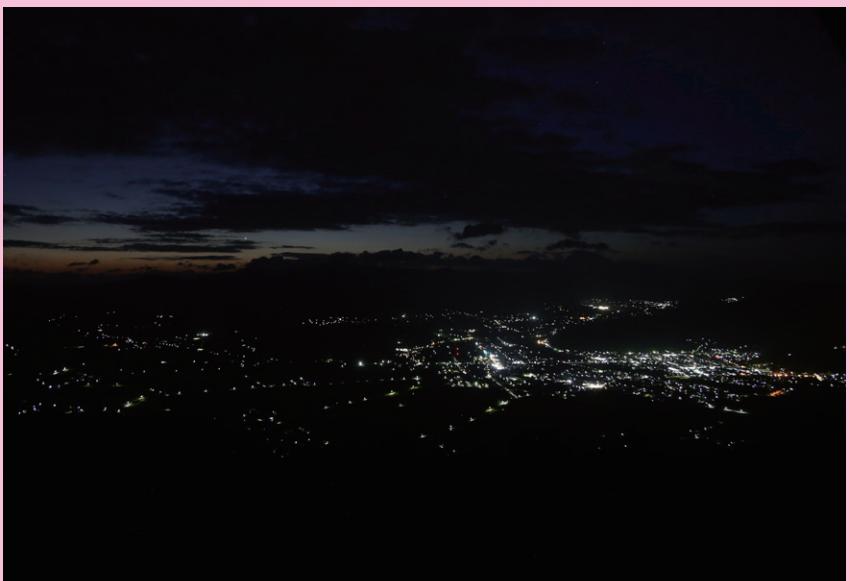
ランタンとしし踊り



夕暮れの裸木



霜の朝

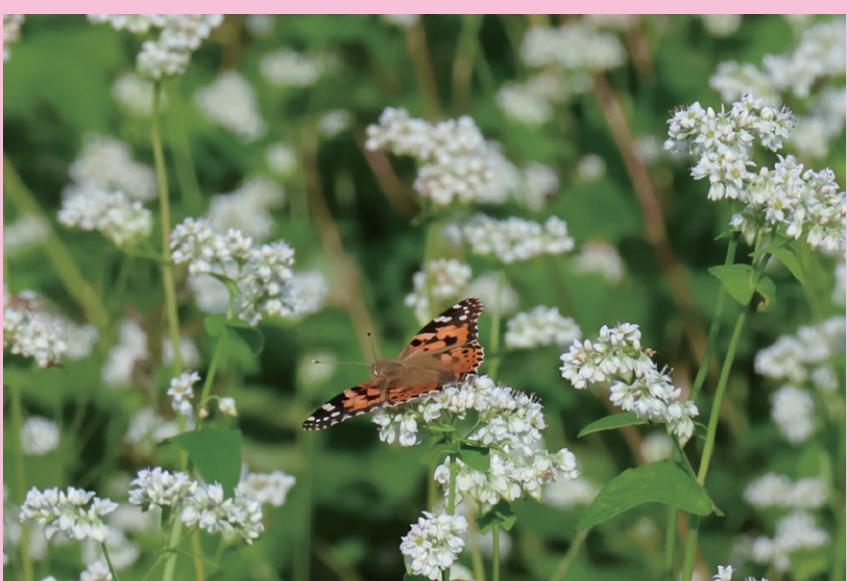


夜明け前の遠野

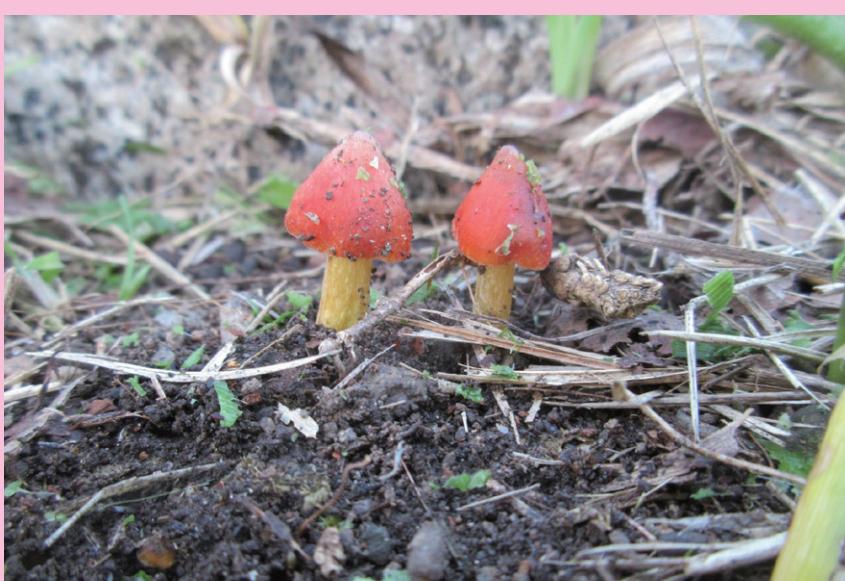
シリーズ 遠野の自然  
「遠野の立冬」  
遠野 1000 景より



夕暮れ時の白鳥



今秋のチョウ



最近見つけたキノコ



ツチグリ

今夏の異常な暑さも、秋口になつても依然として暑かったこともまるで数年前の出来事であつたかのように、ここどころ、急激に寒くなってきた。

遠野では最低気温が氷点下のときもめずらしくなくなつたようだし、霜が降りる朝もあるようだ。

夏が暑い年は冬の寒さが厳しいと言われる。今年はそうなつて、雪もたくさん降るのだろうか。

それでも気がかりなのは、例年だと冬眠するはずのクマが今年は冬眠せず、エサを求めて街中を徘徊しないかということだ。

そうなつたら大変なことになる。そうならないことを切に祈るのみである。



写真でお伝えする  
東北の風景

「釜石まつり 2024」

写真撮影 尾崎匠

